

□ ① 次の文章と資料①・②を読んで、あとの問いに答えなさい。

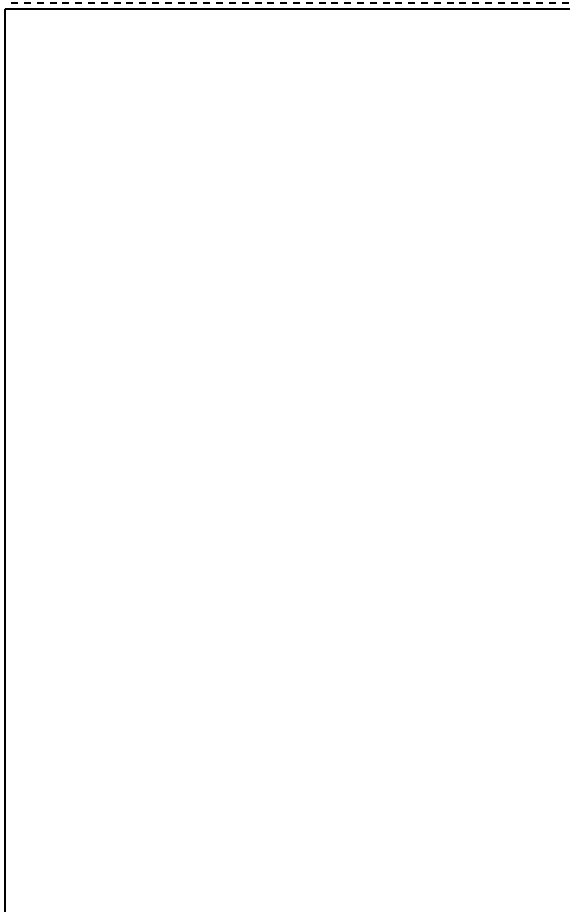
※震度：ある地点での地震の揺れの強さの程度を表すものをいう。

※M7・3：Mはマグニチュードのこと。マグニチュードは地震そのものの大きさ(エネルギー)を表す。

※日本海溝：東日本の太平洋側の海岸線にほぼ平行して存在する最大深度は約八〇二〇メートルの海溝。地震が発生しやすい場所として知られる。

※長期評価：地震が発生しやすい場所を対象に、地震の大きさや一定期間内に地震が発生する確率を予測したもの。

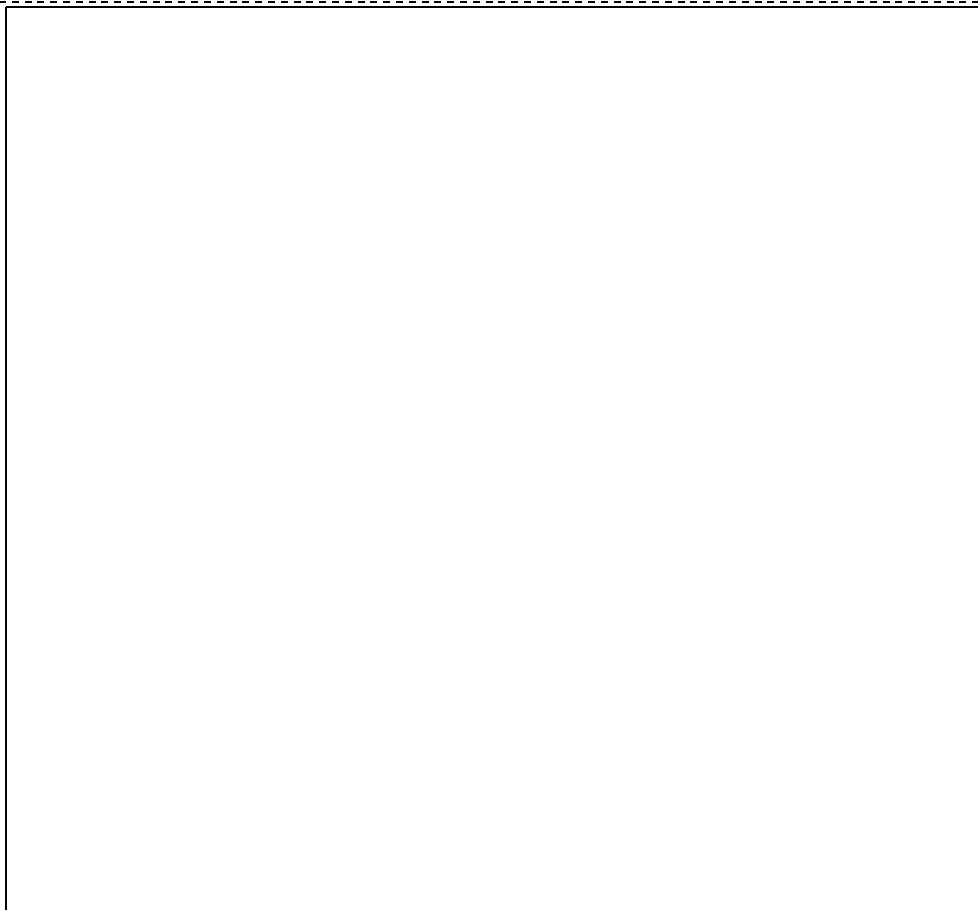
【資料①】木村幹夫「東日本大震災時におけるメディアが果たした役割」(二〇一二年)より



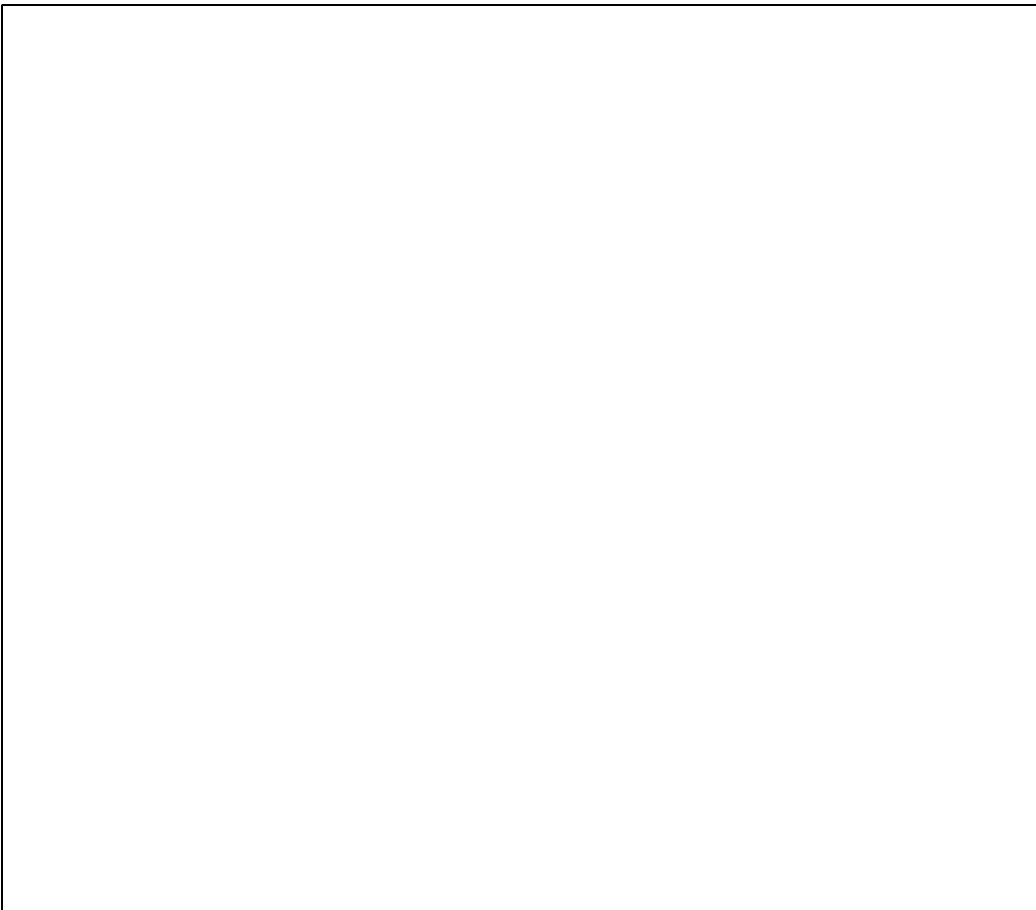
※仮設調査：ここでは仮設住宅に住む人への調査をいう。

※ネット調査：ここではインターネット上での調査をいう。

※媒体：橋渡しをするもの。ここではメディアのことを指す。



【資料②】吉次由美「東日本大震災に見る大災害時のソーシャルメディアの働き」ツイッターを中心に（二〇一二年）より



※デマ：根拠のないうわさ。

※リテラシー：ある情報を正確に理解して使いこなすこと。

(一) 〰〰線部 a 〰 d の漢字の読みをひらがなで答え、カタカナを漢字に直しなさい。

(二) 次の一文は、本文中の (I) 〰 (IV) のどこに入れるのが適切ですか。記号で答えなさい。

わずか20年ほどの間に、地震対策は急速に進んできたのです。

(三) 

A
---

 〰 

C
---

 について、接続詞「しかし」が入らないものを一つ選び、記号で答えなさい。

(四) 資料①・②は、技術はあっても、<sup>1</sup>「伝え方」や「受け取り方」に問題があったのではないかの部分に関する内容です。次の(1)、(2)の問いについて、資料を読んで答えなさい。

(1) 資料①について書かれたア〰カの文のうち、誤りのないものを二つ選び、記号で答えなさい。

ア 仮設調査でもネット調査でも、テレビ・ラジオを情報源として大津波警報を聞いたとの回答がともに全体の五割を超えた。<sup>1</sup>  
イ 大津波警報の認知率に二番目に影響を与えたメディアはラジオであり、仮設調査でもネット調査でも大きな割合を占めてテレビと並んでいる。

ウ 仮設調査でもネット調査でも、大津波警報を聞いた割合が高い地域では多くの人が防災無線を情報源の一つとしていた。  
エ 自治体等による呼び掛けにより大津波警報を聞いたという人はどの地区でも少なく、避難が遅れた原因の一つと考えられる。

オ ネット調査で、大津波警報を聞いてすぐに避難をはじめたという人の割合は仮設調査の半分以下でしかなかった。

カ 警報や注意報のとおり津波が来ることがなかったため、ネット調査では約三割の人がすぐには避難をしなかった。

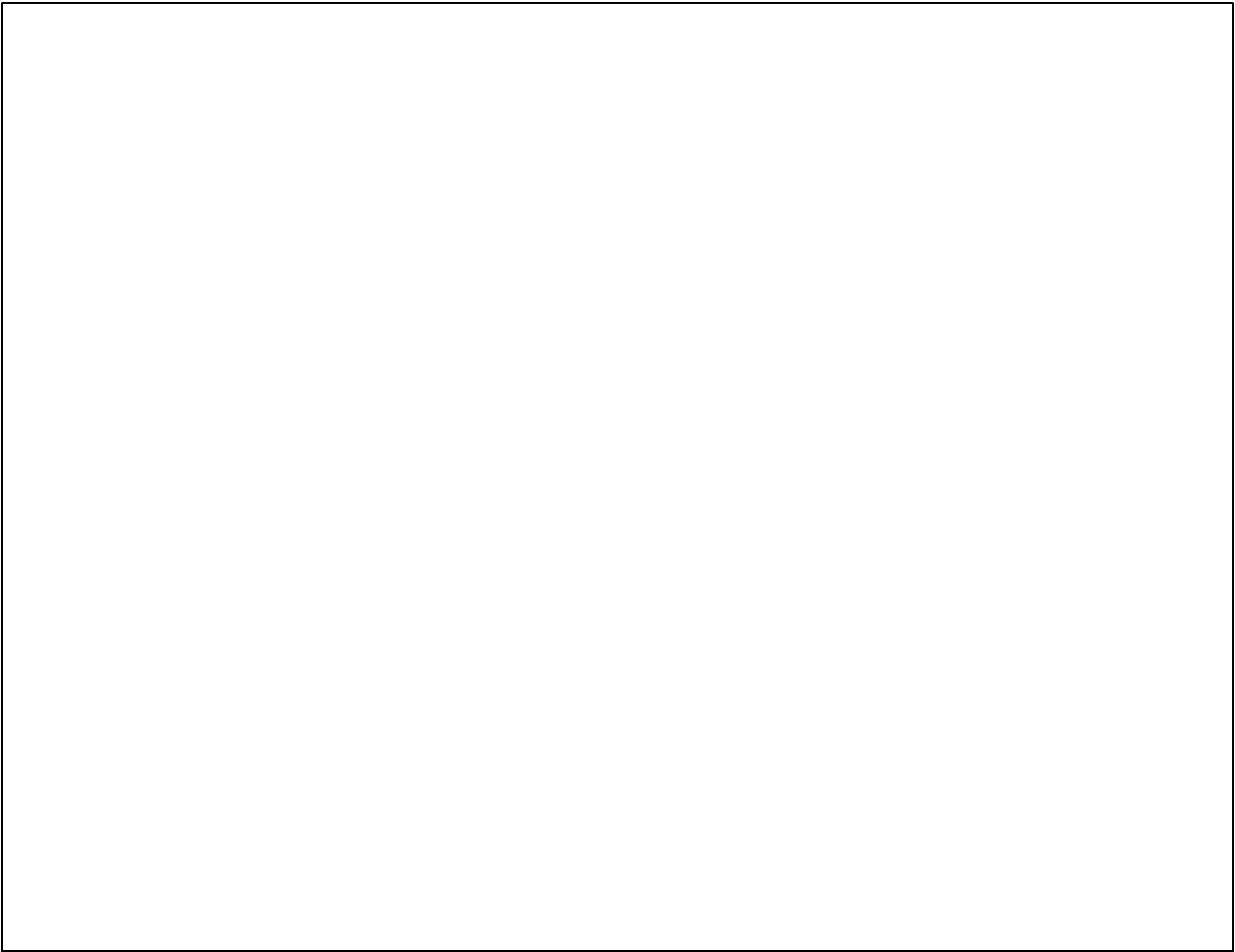
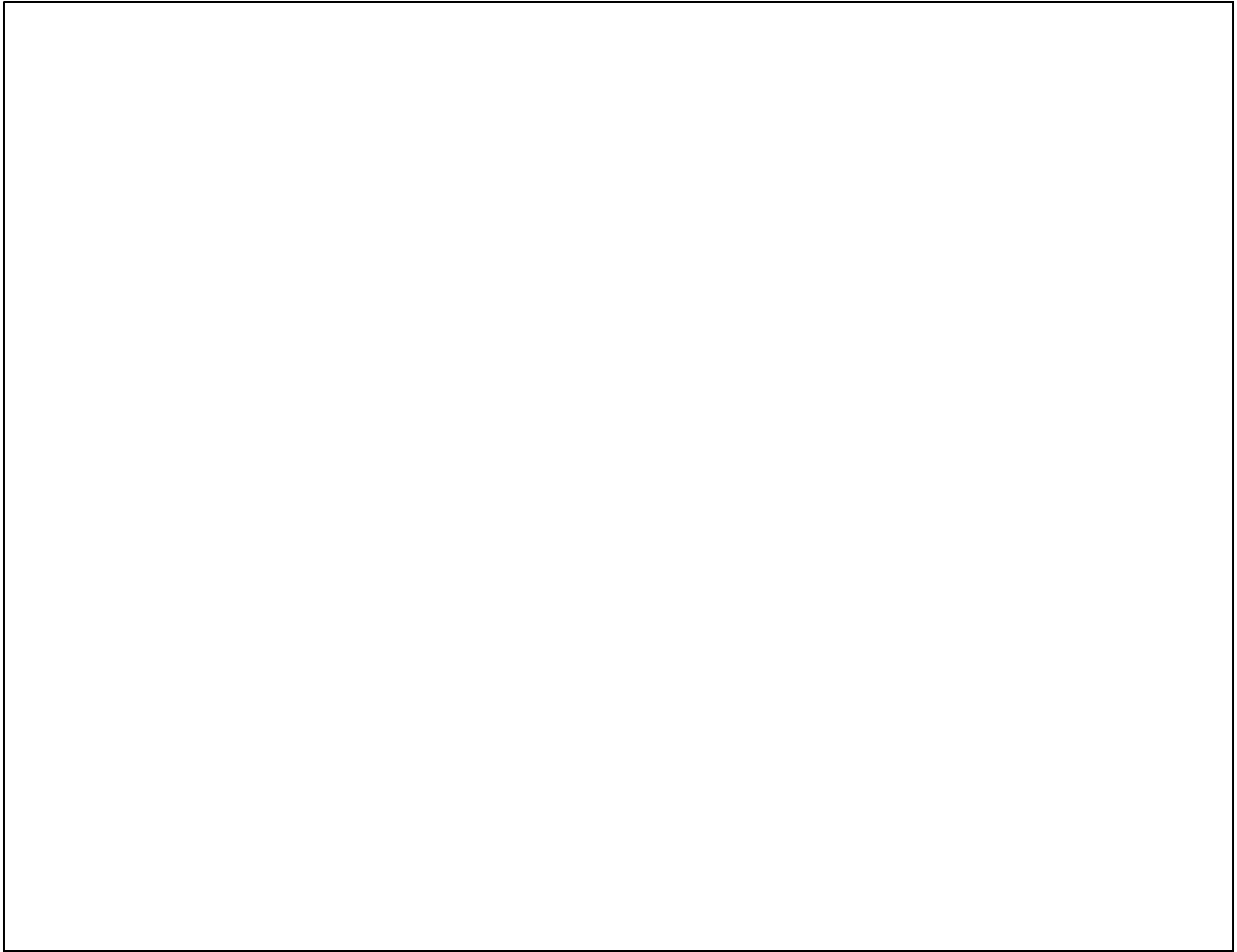
(2) 資料①の「テレビ・ラジオ」ですが、メディアとして強みも弱点も持っています。このうち「弱点」を、資料②から読み取り、その内容を記述しなさい。

(五) (一 1)にはどのような表現が入ると考えられますか。本文中の語句を用いて書きなさい。

(六) 備えを進めてほしい<sup>2</sup> とありますが、私たちは「ソーシャルメディア」を使う際にどのような「備え」をするべきでしょうか。本文や資料①・②に書かれた内容を参考にしながら記述しなさい。

□ 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

病気によって失明をした「私」は盲導犬協会の塩屋先生と知り合うようになって犬嫌いを克服し、夫の幸治とともに新しい町で盲導犬のベルナとの生活を始める。



(郡司ぐんじかなえ『ベルナのしつぽ』より)

※遠まき：遠くから周りを囲むこと。

※昭和五六、七年：今から約四十年前。平成の前の元号。

※ハーネス：犬の胴体どうたいに着ける胴輪どうわ。さらにそこからひもを付けて人間の手持つ。

※執拗しつよう：しつこいこと。

※途方とほうにくれました：方法や手段がなくなって、どうしていいかわからなくなること。

※従順：相手の言うことを聞いて、逆らわないこと。

(一) 〜〜線部 a d の漢字の読みをひらがなで答え、カタカナを漢字に直しなさい。

(二) (一) にはどのような表現が入ると考えられますか。本文の内容を参考に、考えて書きなさい。

(三) 昭和五六、七年の盲導犬に対する人々の理解は、この程度のも  
のだったのです。とありますが、当時の人々は盲導犬の役割に対  
してどのような誤解をしていましたか。本文中から読み取れるこ  
とを書きなさい。

(四) (2) の部分には「私」が「駅員さん」に説明した内容が書  
かれています。ここに書かれている内容として、ふさわしくない  
ものを次のア、イの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 盲導犬がどんなにたいへんな訓練を受けてきたかということ。
- イ 盲導犬がどんなに優秀な能力を持っているかということ。
- ウ 盲導犬を街の人のほとんどが見たことがないということ。
- エ 盲導犬の乗車が許可されているはずだということ。

(五) (3) (4) に入ることばとして適切なものを次のア、  
キよりそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 不安そうな
- イ 複雑な
- ウ 当たり前
- エ 軽快な
- オ 恥ずかしげに
- カ 不機嫌な
- キ 得意そうに

(六) なあんだ、しつこいのはイヤって思ったのね。とありますが、  
ここから「私」のほっとした気持ちを読みとれます。ここまで「私」  
はベルナとの生活を始めるにあたってどのようなことを心配して  
いましたか。それがわかる連続する二文をぬき出し、最初の五字  
を書きなさい。



三 次の問いについて、あとの文章を読んで答えなさい。

(一) ヤバイ<sup>1</sup>ね、ヤバ<sup>2</sup>かった、ヤバイ<sup>3</sup>とありますが、これらの「ヤバイ」はどのような意味で使われていますか。それぞれ書きなさい。

(二) <sup>4</sup>そんなときに『ヤバイ』としか表現できないのは『ヤバイ』んじゃないのかなとありますが、その理由を答えなさい。

文岡健<sup>ふみおかたけし</sup>は、作文が苦手な中学二年生。最近飼<sup>ね</sup>いだした猫<sup>ねこ</sup>のマ・ダナイから文章を教わる。ダナイは以前に小説家に飼<sup>ね</sup>われていて、文章が書くのが得意な猫だ。

（はやみねかおる『めんどくさがりなきみのための文章教室』より

一部表記を改めたところがある。）

※猫の手も借りたい：いそがしくて大変な様子を表す慣用句。

※羽交い締め：相手の背中から両わきの下に腕を通し、首のうしろで手を組み合わせて強くしめつけること。

※SNS：ツイッターやフェイスブックなど、インターネット上で会員登録をし、多くの人と情報をやりとりしたり、交流したりするサイト。